

# 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：青少年対策費

## 事業名 子ども・若者育成支援ネットワーク事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

生活部 私学振興・青少年課 青少年係 電話番号：058-272-1111(内3039)

E-mail：c11151@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 664 千円 (前年度予算額： 664 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	664	0	0	0	0	0	0	0	664
要求額	664	0	0	0	0	0	0	0	664
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・「子ども・若者育成支援推進法」(H22.4施行)において、不登校・ひきこもり・ニート等社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者に対する支援が掲げられたことを受け、同法上に規定されている「子ども・若者支援地域協議会」を、それまでのネットワーク会議から格上げ設置し、関係機関と連携した取組を実施。
- ・また、同法では青少年に対する総合的相談窓口が求められており、既に設置していた「青少年SOSセンター」の機能を拡充させた。
- ・今後の方向性として、青少年の総合相談窓口として「青少年SOSセンター」の体制強化を図るとともに、関係する相談・支援機関との情報共有や資質向上を進め、市町村における相談体制の充実を図る。

### (2) 事業内容

- ①子ども・若者支援地域協議会の運営 (事業費：227千円)  
・関係相談・支援機関の情報交換及び具体的施策の検討を実施
- ②市町村担当課長等会議の実施 (事業費：164千円)
- ③相談窓口担当者研修会の実施 (事業費：273千円)

**(3) 県負担・補助率の考え方**

- ・ 困難を有する子ども・若者の育成支援は、県の教育、福祉、就労等の対策につながるものであり、県負担は妥当。

**(4) 類似事業の有無**

- ・ 無

**3 事業費の積算 内訳**

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	210	研修会、情報交流会の講師謝金
旅費	66	講師等の費用弁償、打ち合わせにかかる旅費
需用費	221	事務用消耗品、研修会等資料印刷代、(『岐阜県子ども・若者相談・支
役務費	104	郵便料、電話料
使用料	63	会場使用料
合計	664	

--

**4 参考事項**

**(1) 各種計画での位置づけ**

- ・ 岐阜県青少年健全育成計画

**(2) 国・他県の状況**

- ・ 「子ども・若者育成支援推進法」(内閣府平成22年4月施行) 第19条に基づく設置

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

困難を有する子ども・若者の問題を深刻に受け止め、地域における総合的な支援体制及び支援の充実を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
複合的な困難に対する連携モデル事例構築数の累計		100 (累積)	100 (累積)	100 (累積)	100 (累積)	100.0%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>関係機関・団体による子ども・若者支援地域協議会を開催し、具体的な施策の協議と事例検討を行い、更なる連携体制の強化を図った。</p> <p>相談窓口担当者研修会（全8講座）を開催し、のべ173人が参加し市町村における人材育成を図った。</p> <p>相談・支援機関担当者情報交流会を実施し、担当者同士の「顔の見える関係」づくりを促進し、ネットワークの構築を図った。</p>
令和3年度	<p>関係機関・団体による子ども・若者育成地域協議会を開催し、具体的な施策の協議と事例検討を行い、更なる連携体制の強化を図った。</p> <p>相談窓口担当者研修会（全4講座）を開催し、のべ240人が参加し市町村における人材育成を図った。</p> <p>相談・支援機関担当者情報交流会を実施し、担当者同士の「顔の見える関係」づくりを促進し、ネットワークの構築を図った。</p>
	<p>指標① 目標：95.0% 実績：94.8% 達成率：99.8%</p>
令和4年度	<p>関係機関・団体による子ども・若者育成地域協議会を開催し、具体的な施策の協議と事例検討を行い、更なる連携体制の強化を図った。</p> <p>相談窓口担当者研修会（全4講座）を開催し、のべ222人が参加し市町村における人材育成を図った。</p> <p>相談・支援機関担当者情報交流会を実施し、担当者同士の「顔の見える関係」づくりを促進し、ネットワークの構築を図った。</p>
	<p>指標① 目標：100 実績：100 達成率：100%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	ニート、ひきこもり、不登校等、社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者の問題が深刻な状況にあることを踏まえ、地域における総合的な支援体制を構築し、関係相談・支援機関が連携・協力して自立支援にあたることが必要であり、必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	これまでの取組により、県レベルで支援体制の連携が進められてきた。今後は、市町村レベルで地域に根差した支援体制の構築を進めていく。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	県民に対する個別具体的な支援は、身近な市町村で行い、県はそのバックアップを行っていくという役割分担を念頭に、効率的な事業を進めていく。

### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内市町村の子ども・若者育成支援施策の取組を促し、地域に根差した支援体制の構築を進める必要がある。
--

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・市町村における支援体制(ネットワーク)づくりの支援 ・岐阜県子ども・若者支援地域協議会における連携の促進
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	